

尾鷲市地域公共交通総合連携計画（案）

平成 20 年 月

尾鷲市地域公共交通活性化協議会

1 計画の目的

本市は急峻な山地に海岸が迫る厳しい地形環境にあり、市街地と出張所管内が山や海に分断されていることから、公共交通により各地区をいかに結ぶかが重要な課題となっている。

公共交通は、市民の生活、産業活動、交流等を支える重要なシステムであり、本市の公共交通機関は鉄道、路線バス、タクシーおよび航路がその役割を担っている。鉄道はJR紀勢本線、路線バスは尾鷲長島線、島勝線、九鬼線、輪内線、及びふれあいバス八鬼山線と都市等を結ぶ長距離バス、航路は尾鷲地区と須賀利地区を結ぶ須賀利巡航船が運行され、市民の生活に欠くことのできないものとなっている。

公共交通機関の利用者は、自動車等の個別輸送機関に依存できない高齢者や園児、児童、生徒等が中心となっている。本市の高齢化率は平成20年8月1日現在33.8%と高く、今後さらなる少子・高齢社会が予想され、通院・通園・通学の手段の確保などニーズに即した安全かつ利便性の高い交通手段が必要となっている。

幹線道路の整備は、「熊野尾鷲道路」尾鷲南IC～三木里ICの開通や近畿自動車道紀勢線の整備など新たな道路ネットワークの形成が図られ、公共交通環境は大きく変化している。さらに、世界遺産に登録された「熊野古道」や、「三重県立熊野古道センター」、地域振興ゾーン「夢古道おわせ」などへの誘客も配慮すべきものとなっている。

鉄道については、県や近隣市町等と連携し、利用促進活動や要望活動を展開しているものの、年々利用者が減少している。市内には5駅が存在し、普通列車は1～2輦で上下各10本が運行され、「特急ワイドビュー南紀」は通常1日上下各4本が運行されている。

路線バスについても、同様に利用者は減少の一途にあり、平均乗車率が年々下降している。平成14年の道路運送法の改正により、バス事業者の参入・撤退が自由化され、全国的な傾向として交通事業者の路線バスからの撤退が進んでいる。また、介護や介助が必要な高齢者に対する福祉有償運送など、新たな交通サービスの出現もあり、バス交通体系の見直し、検討が求められている。さらに、平成18年10月1日に、バス・タクシー事業を所管する「道路運送法」が改正され、翌年10月1日には「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行されたところである。

本市においては、平成16年3月に「尾鷲市交通体系計画書」を策定し、これに基づき翌年9月から三木浦、早田、九鬼と市街地を結ぶ直通バスの試験的に運行し、さらに翌年10月から本格運行を始め、利用客も順調に推移しているところである。

これらの状況を踏まえ、第5次尾鷲市総合計画後期基本計画の基本方針に則し、効率的、かつ持続可能で、利便性の高い交通システムの整備を行うことを目的に、基本となる方針、目標等を定め、この方針に従って具体的な検討及び改善を進めるために「尾鷲市地域公共交通総合連携計画」を策定するものとする。

2 法律の動き

2.1 道路運送法改正

2.1.1 背景

乗合バス事業は、昭和26年の道路運送法施行以来、需給調整規制を基本として、安全性と安定的なサービスを確保してきた。しかし、モータリゼーションの進展とともに利用者は減少し、地域の実情に即した運行形態やサービスの必要性が高まり、平成14年2月に需給調整規制の廃止を柱とする道路運送法の改正が行われ、新規事業者の参入、多様なサービスが提供されるようになった。

しかし、少子高齢化の進展や地方の過疎化の進行により、コミュニティバスや乗合タクシー、デマンド交通など、地域のニーズに応じて乗合旅客の運送形態は多様化してきており、こうした運送サービスの普及を促進することに旅客の利便の向上を図る必要がある。このことから、平成18年10月1日より道路運送法の一部を改正する法律が施行された。

2.1.2 概要

道路運送法の改正により、コミュニティバス・乗合タクシー等、ニーズに応じた多様な形態の運送サービスや、旅客の利便性向上を目的に市町村バス、NPO等によるボランティア有償運送の普及を促進し、住民の生活に必要な旅客運送を確保する。

これまでは、乗合旅客を運送する一般旅客自動車運送事業と、自動車を貸し切って旅客を運送する一般旅客自動車運送事業とは区別され、乗合事業による運送が不可能な場合にのみ、貸切事業者が乗合旅客運送を行うことが可能であった(いわゆる21条許可)。今回の改正により、この制度は臨時的運行の場合を除いて廃止された一方、乗合事業の対象範囲が拡大し、乗合事業許可により多種の運送サービスの提供が可能となり、その参入にあたっての基準も緩和が図られた。乗合事業の運賃・料金については、地域住民の日常生活との関連が極めて密接で、公共性の高い事業であるため、不当に高額な運賃・料金設定をしないよう許可が必要であったが、地域関係者の合意がある場合は運賃・料金について事前の届出で足りることになった。

市町村バス、NPO等によるボランティア有償運送は、公共の福祉を確保するためやむを得ない場合として、自家用自動車による有償運送を例外許可となっていたが、改正により地方公共団体、バス・タクシー事業者、地域住民等の地域関係者の合意が得られている場合、一定の要件を満たした市町村や特定非営利活動法人等による自家用自動車を使用した有償旅客運送を可能とする登録制度が創設された。

2.2 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律

2.2.1 目的

地域における鉄道やバスなどの公共交通のおかれた状況が厳しさを増しつつあることを踏まえ、地域公共交通の活性化・再生を通じた魅力ある地方を創出するため、地域公共交通の活性化・再生に関して、市町村を中心とした地域関係者の連携による取組を国が総合的に支援するとともに、地域のニーズに適した新たな形態の旅客運送サービスの導入円滑化を図るための措置を講ずる。

2.2.2 法律の概要

1. 地域公共交通総合連携計画の作成及び実施

(1) 地域公共交通総合連携計画の作成

市町村は、関係する公共交通事業者、道路管理者、公安委員会、利用者等で構成する協議会での協議を経て、地域公共交通の活性化・再生を総合的かつ一体的に推進するための計画（「地域公共交通総合連携計画」）を作成することができる。

- 1 生活交通圏が複数の市町村にまたがる場合には、共同して関係する市町村が計画を作成することができる。
- 2 より効果的かつ実効性のある計画作成が可能となるよう以下のような措置を講ずることとしている。
 - ・公共交通事業者や利用者による地域公共交通総合連携計画の作成等の提案制度
 - ・公共交通事業者や道路管理者等に対する協議会の参加要請に対する応諾義務
 - ・協議会参加者に対する協議結果の尊重義務

(2) 地域公共交通特定事業の実施

地域公共交通総合連携計画に定められる事業のうち、特に重点的に取り組むことが期待される事業（「地域公共交通特定事業」）について、国による認定制度等を設け、認定等に係る事業に対して、関係法律の特例による支援措置を講ずることとしている。

3 地域特性

3.1 地形・地勢

3.1.1 地形・地勢

本市の面積は 193.16k m² (H19.10.1 現在) であり、東西 21km、南北 19km の広がりを持っている。また、総面積の 90% が山林で覆われ、沿岸部には変化に富んだリアス式海岸が形成されている。平坦な土地は少なく、集落は湾の奥に位置している。

3.1.2 気候

気象平均値 (昭和 46 年 ~ 平成 12 年の 30 年平均) における年平均気温は 15.9 で比較的温暖な気候であります。年間平均降水量は約 4,000mm と全国でも有数の多雨地帯となっている。

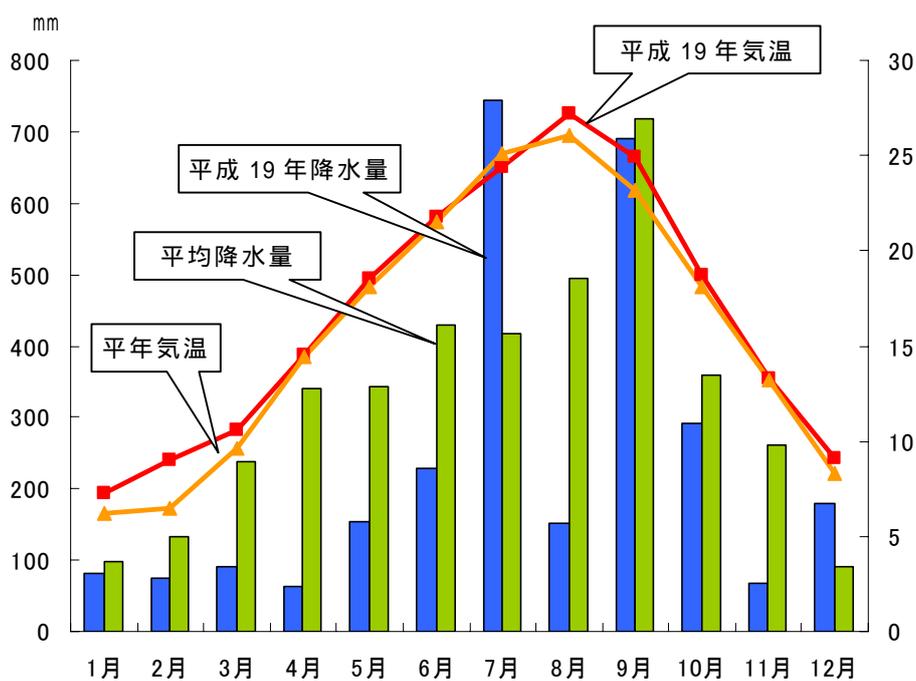


図1 月別の気温及び降水量の変化

3.1.3 地域構成

本市は、紀伊半島南東部、三重県南部に位置し、熊野灘に面している都市である。10の点在する集落から形成され、全ての集落ともに急峻な山地と海に挟まれた海岸地帯に位置している。その中でも、尾鷲地区は本市最大の市街地であり、公共・商業施設及び住宅が集中している。

3.1.4人口

平成20年8月1日現在の本市の人口は21,970人であり、近年減少傾向である。

国勢調査結果による人口推計によると平成22年には2万人を下回ることが予想されている。高齢化も徐々に進展しており、平成17年で31.1%、平成22年に37%となり、平成27年には40%を超えることが予想されている。一方、年少人口は平成17年11.6%、平成22年に10.1%、平成27年に9.5%と減少傾向が続くと予測されている。

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人口	23,683	22,103	19,642	17,989
年少人口	3,131	2,569	1,988	1,712
老年人口	6,291	6,875	7,264	7,359

図2 人口推計値

第5次尾鷲市総合計画後期基本計画巻末資料から

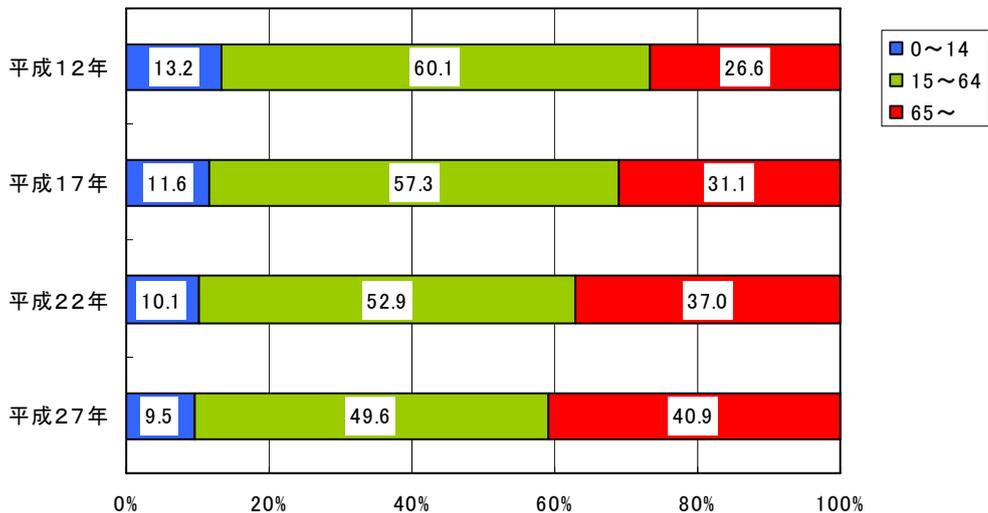


図3 区分別人口の推移

地区別人口実態

平成20年4月1日

	市街地	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀
人口	17,554	347	590	195	726	825	575	744	202	235
年少人口	2,396	5	14	7	56	47	30	59	6	17
老年人口	7,425	209	330	127	330	426	339	327	118	104
単身世帯	1,502	48	107	27	79	158	82	103	44	31
高齢者のみ	1,044	45	67	32	73	84	89	69	29	24

図4 地区別人口の状況

人口は住民基本台帳、単身世帯及び高齢者のみ数値は福祉保健課調べによる

3. 1. 5道路

市内の中心を通る国道42号、海側を通る国道311号が主な幹線道路であり、平成20年度に国道42号熊野尾鷲道路尾鷲南IC～三木里IC間が完成している。国道42号の尾鷲地区の4車線以外は、2車線で整備されている。ただし、各地区とも、幹線道路以外の道路を大型車が通行することは難しいと考えられる。

なお、近畿自動車道紀勢線大宮大台IC～紀伊長島IC間、新直轄方式で行われている紀伊長島IC～尾鷲北IC間、熊野尾鷲道路三木里IC～熊野市大泊IC間については、平成25年の式年遷宮に向けて整備が進められている。

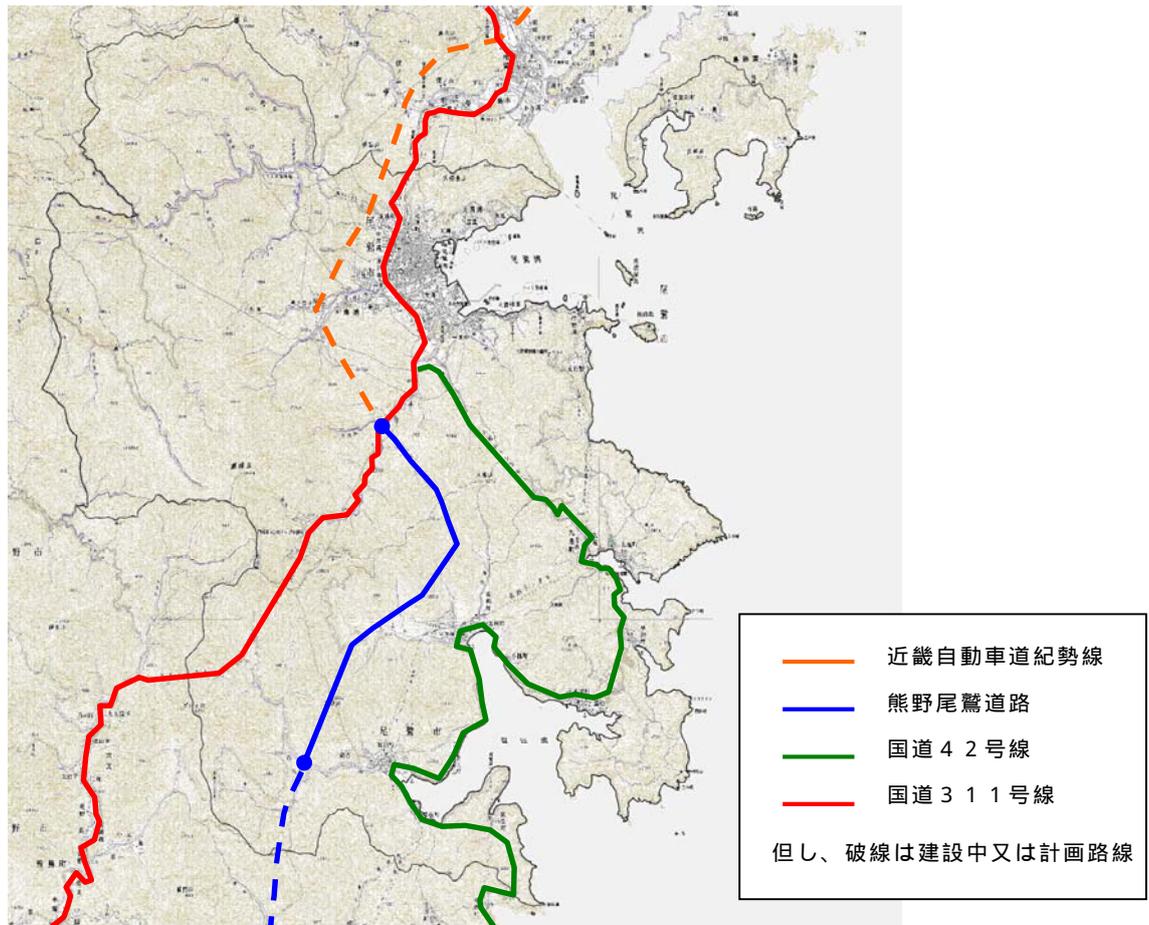


図5 主要幹線道路

3. 1. 6学校

小学校は、尾鷲地区4ヶ所、九鬼、三木浦、三木里、賀田地区に各1ヶ所の計8校。中学校は、尾鷲、九鬼、賀田地区に各1校の計3校あるが、今後統廃合の計画がある。高等学校は、尾鷲地区に尾鷲高等学校の1校がある。

3.1.7 公共施設・商業施設

主な公共施設、商業施設は尾鷲地区に集中している。昨年に電化製品を販売している「エイデン」が末広町から矢浜に移転している。

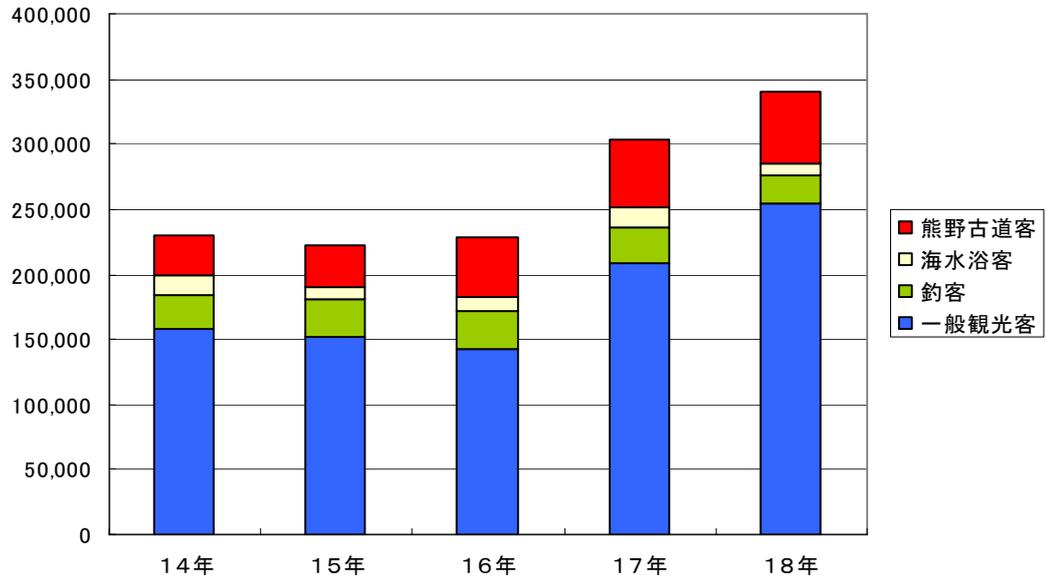


図6 尾鷲地区の施設

3. 1. 8観光

観光客は、一般観光客（尾鷲節コンクール、おわせ港まつり、尾鷲イタダキ市等）及び熊野古道客は年々増加傾向にある。しかし、海水浴及び釣客は減少傾向にある。

平成 19 年 2 月に開館した三重県立熊野古道センターは、約 13 万人の来館者数を数え、近隣に地域振興ゾーンがオープンするなど、今後集客が望まれる。



	一般観光客	釣客	海水浴客	熊野古道客
14年	157,205	26,505	15,500	30,831
15年	151,123	29,125	10,080	31,909
16年	143,001	28,796	10,450	46,570
17年	208,681	27,006	16,300	52,081
18年	253,812	22,065	9,800	54,790

図 7 観光客の状況

4 公共交通の現状

4.1 鉄道・バス・巡航船の現状

4.1.1 鉄道

本市には、JR紀勢線が運行しており、市内に5駅が存在しています。普通列車が上下各10本。特急南紀は、尾鷲駅のみに停車し、上下各4本が運行されております。尾鷲駅の利用者数は、年々利用者数が減少している。

(単位:人)

年 度	尾鷲駅	大曾根駅	九鬼駅	三木里駅	賀田駅
15年度	291,541	4,856	24,169	31,155	42,114
16年度	278,017	3,822	22,939	31,544	38,689
17年度	268,230	5,423	21,671	29,477	38,910
18年度	240,726	5,172	20,247	29,549	36,321
19年度	228,011	7,387	21,216	28,840	36,161

図8 JR東海各駅乗車人員

4.1.2 路線バス

本市内の路線バスとしては、尾鷲長島線、島勝線、松本線、九鬼線、輪内線の5路線及びふれあいバス八鬼山線が存在し、その他として東京、名古屋、津行の高速バス及び松阪行の南紀特急バスが毎日運行している。乗車人数は、減少傾向にあり、島勝線は生活交通路線バス、長島線は第3種生活路線バスとして、松本線、九鬼線、輪内線については廃止路線代替バスとして、ふれあいバス八鬼山線は自主運行バスとして運行されている。

広域・幹線路線バス(第3種生活路線バス、生活交通路線バス)

- ・長島線・・・長島駅～瀬木山間 8往復/日
- ・島勝線・・・島勝～瀬木山間 8往復/日

廃止路線代替バス

自主運行バスのうち廃止路線代替バスは2路線が運行しており、市が運行事業者に委託し運行している。毎年補助額は年々増加傾向にある。

各路線のグラフは各年度における県への補助申請書に基づき、グラフを作成している。補助申請における期間は当該前年度10月から当該年度の9月までである。

・松本線

【運行区間】ジャスコ～紀伊松本間 7往復/日

但し上下各2便は土日祝日運休

【乗降状況】平成20年6月19日～7月18日に実施

定期運行便のみの調査5往復/1日を対象

路線	平均乗降者数	月間乗降者数	最大乗員数
紀伊松本～ジャスコ	19.50人/日 3.25人/便	585人	16人
ジャスコ～紀伊松本	19.90人/日 3.98人/便	597人	18人

図9 松本線における乗降状況

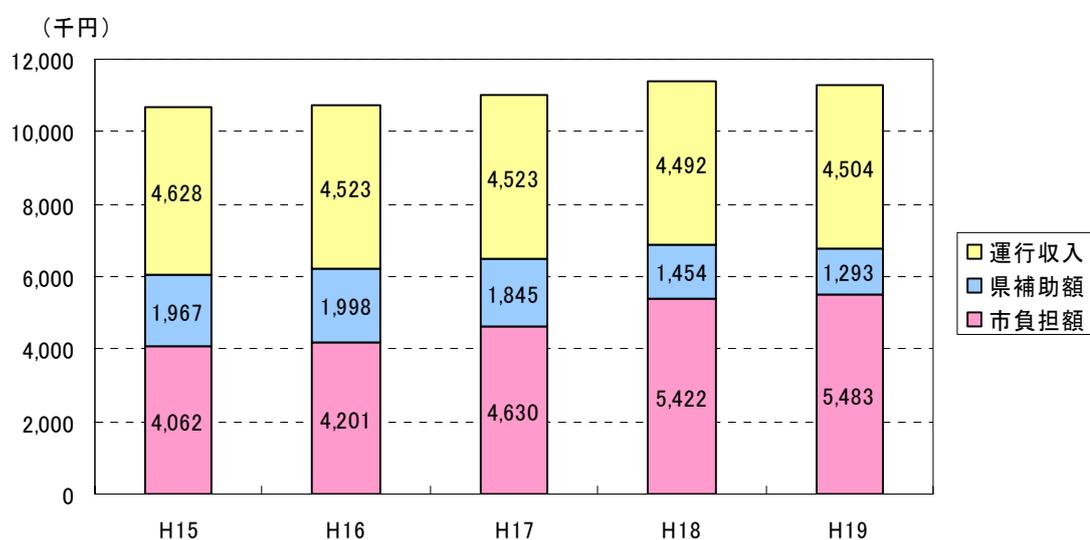


図10 松本線における補助金の推移

・九鬼線

【運行区間】九鬼～早田間 9往復/日

九鬼～九鬼駅間 4往復/日

但し、上下各1便は土・日・祝日並びに九鬼小、中学校休校日運休

【乗降状況】平成20年6月19日～7月18日に実施

定期運行便のみの調査12往復/1日を対象

路線	平均乗降者数	月間乗降者数	最大乗員数
早田～九鬼	8.93人/日 0.74人/便	268人	5人
九鬼～早田	6.80人/日 0.57人/便	204人	5人

図11 九鬼線における乗降状況

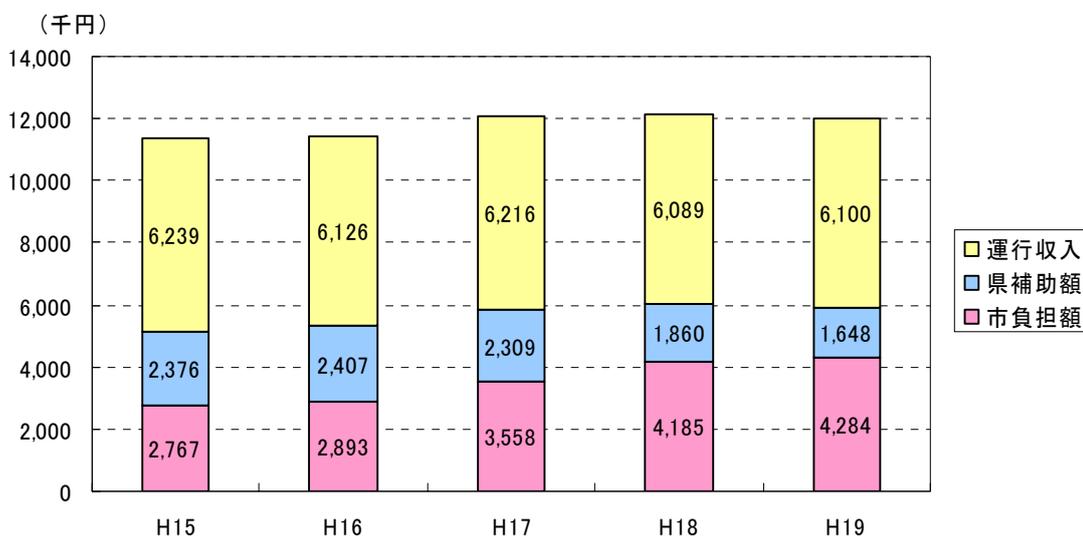


図12 九鬼線における補助金の推移

・ 輪内線

【運行区間】三木浦～三木里間	5 往復 / 日
三木浦～賀田間	2 往復 / 日
三木浦～梶賀間	2 往復 / 日
古江～梶賀間	6 往復 / 日
古江～賀田間	2 往復 / 日
賀田～梶賀	1 往復 / 日

【乗降状況】平成 20 年 6 月 19 日～7 月 18 日に実施
 定期運行便のみの調査 18 往復 / 1 日を対象

路線	平均乗降者数	月間乗降者数	最大乗員数
三木浦～梶賀	40.8 人/日 2.26 人/便	1224 人	10 人
梶賀～三木浦	40.5 人/日 2.25 人/便	1217 人	17 人

図 13 輪内線における乗降状況

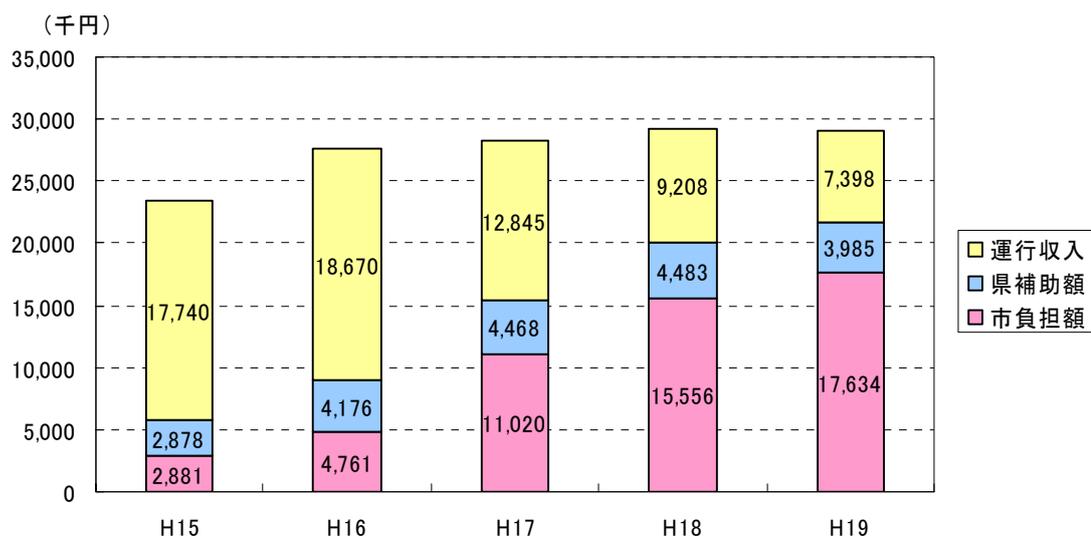


図 14 輪内線における補助金の推移

輪内線は 15 年 4 月 1 日から第 3 種路線から自主運行バスに変更されている。

自主運行バス

平成 18 年 10 月からふれあいバス八鬼山線を運行事業者に対し市が欠損補助を行いながら、運行している。現在のところ地域住民の足として定着しつつあります。

・ふれあいバス八鬼山線

【運行区間】三木浦～旧尾鷲町間 3 往復 / 日

【乗降状況】平成 20 年 7 月 1 日～7 月 31 日に実施

定期運行便のみの調査 3 往復 / 1 日を対象

路線	平均乗降者数	月間乗降者数	最大乗員数
三木浦～市街地	38.73 人/日 12.91 人/便	1162 人	28 人
市街地～三木浦	31.61 人/日 10.54 人/便	980 人	33 人

図 15 ふれあいバス八鬼山線における乗降状況

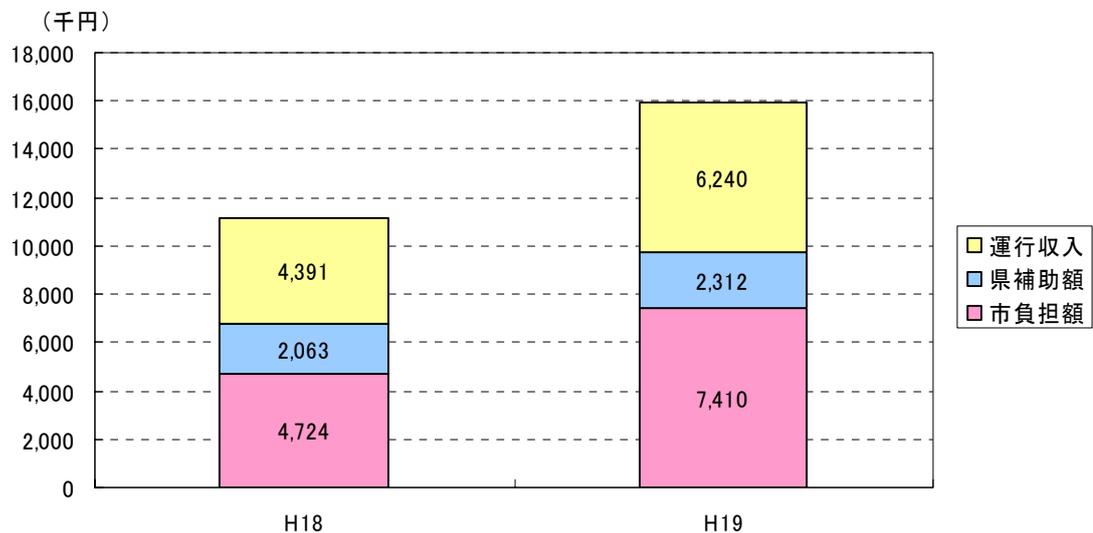


図 16 ふれあいバス八鬼山線における補助金の推移

4.1.3 巡航船

須賀利巡航船は尾鷲地区と須賀利地区を結ぶ重要な航路であるが、利用者数は年々減少していることから、平成 19 年 10 月から須賀利地区との協議の上、日曜日を運休日と定め、経営努力を行っている。

運行本数が 1 日 4 本である。尾鷲港の乗り場近くにバス停が存在するが、巡航船とバスとの連携が図れていない。

4. 2児童・生徒の通学手段の確保

過疎・少子化に伴う市内の小中学校の統廃合により、今まで徒歩で通うことのできた児童・生徒がバス等を利用して通学しなければならない状況が発生する。

現在、須賀利地区の小中学生は、スクールタクシーで通学。行野・早田地区の小中学生は、バス路線を利用した通学。三木浦・三木里地区の中学生及び古江・梶賀地区の小中学生は、スクールバスにて通学している。

今後の小中学校の統廃合により、通学手段の確保を検討していく必要がある。

	須賀利	行野	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀
0-4		1	2	3	14	7	6	13		6
5-9		1	6	2	15	15	13	20		5
10-14	4	3	5	2	21	27	11	29	6	6
15-19	2	4	17	4	33	14	9	27	11	7

図 17 地区別年少人口（平成 20 年 8 月 1 日現在）

地区名	学区域	交通手段
須賀利	矢口小学校	スクールタクシー
	潮南中学校	
行野浦	向井小学校	路線バス（松本線）
	尾鷲中学校	
早田	九鬼小学校	路線バス（九鬼線）
	九鬼中学校	
三木浦、三木里	輪内中学校	スクールバス
古江、梶賀	飛鳥幼稚園	スクールバス
	賀田小学校	
	輪内中学校	

図 18 各地区別通学ルート一覧

5 地域公共交通総合連携計画

5.1 基本方針

本計画では、地域振興、地球温暖化対策、公共交通不便地域の解消、持続可能な生活交通路線の維持を基本方針とする。

5.2 基本目標

これまでの本市における公共交通政策は、既存の公共交通の維持を基本に進めるとともに、熊野尾鷲道路の整備の進捗に併せた新たな公共交通を創造し、市民の利便性の維持・向上を図ってきた。しかし、利用者が年々減少し、公共交通を維持する市の負担が増大していることから、下記の項目を基本目標に掲げ本市において最も適した公共交通体系の構築を目指す。

① 利用しやすい公共交通体系の構築

既存のバス路線を全面的に見直し、高齢者・障害者・子供などの自家用自動車による移動が困難な方々をはじめとする多くの市民が利用しやすい交通体系を構築する。

② 永続的に維持できる料金体系

廃止路線代替バスの料金体系は、委託先の料金体系に基づいた料金設定を行い、ふれあいバス八鬼山線では、本市が独自の料金設定を行っていたため、運賃格差が生じている。バス路線の全面見直しにあわせて、バス路線が永続的に維持できる公平な料金設定を行う。

③ 地域の活性化への寄与

三重県立熊野古道センター、夢古道おわせ及び世界遺産登録された熊野古道などの観光交流施設との連携を行い、本市を来訪される方へのもてなしや、地域の活性化に寄与する交通体系を構築する。

④ 地域・利用者の参画

厳しい財政状況の中で、バス路線を存続させるためには、利用者や地域にとって必要な路線としての位置づけや意識づけが必要である。そこで、地域及び利用者が運行に参画できる仕組みづくりを構築する。

⑤ 環境問題等への配慮

地球温暖化など環境問題等への配慮が必要となっており、環境にやさしい公共交通体系を目指す。

⑥ 積極的な情報提供

これまで、路線バスとふれあいバス八鬼山線はそれぞれに情報提供を行ってきたため、利用者にわかりにくいものとなっていた。このことから市内のバス・鉄道路線が一目で見られる利用者に優しいパンフレットの作成等を行っていく。

5.3 地域公共交通総合連携計画の区域

本市は、地域公共交通総合連携計画の対象とする区域は市域全域を基本とする。対象路線は、下記一覧表の通りとする。

対象路線名		対象区域
鉄道	J R 紀勢線	尾鷲～賀田
バス	ふれあいバス八鬼山線	三木里～三木浦～早田～九鬼～旧町内
	南回り線（仮称）	梶賀～賀田～古江～三木里～旧町内
	市内循環バス	尾鷲駅を基点とする旧町内
タクシー		尾鷲全域

5.4 計画期間

平成21年から平成23年とする。

6 計画実現のために

6.1 地区別計画

① 旧町内

現状と課題

旧町内では、松本線、尾鷲長島線、島勝線のほか、東京、名古屋、津行の高速バス及び、松阪行の南紀特急バスが運行している。

松本線は、行野浦から市街地を結ぶ路線であり、平成3年度から廃止路線代替バスとして運行を維持している。また、市街地への交通手段や小中学生の通学バスとして利用されているものの、1ヶ月の乗降調査では1便当たりの平均利用者数が3.62人と利用率が低い状況である。

一方、市街地には、泉、光ヶ丘、天満、宮ノ上などは、路線バスの停留所から距離が離れていることに加え、大型商業施設が点在化しており、住民の通院・買い物・通学等のさまざまな目的に応じた交通手段の確保や、公共交通空白地帯の解消が求められている。また、JRの特急列車の利用者を市内観光施設へ誘客するための公共交通手段の確保が十分でないなどの課題がある。

公共交通に関するアンケート結果(市街地巡回バス)

市街地巡回バスの運行に関する調査結果では、37.0%が「利用したい」と答え、36.1%が「特に利用したいと思わない」と回答した。旧町内在住の方に限定した調査結果では、29.1%が「利用したい」と答えたのに対し、45.0%が「特に利用したいと思わない」と回答した。

公共交通に関するアンケート結果(松本線)

尾鷲市全体のバス見直しに関するアンケート結果では、21.9%が「市の負担を継続しバス路線を維持していくべき」と答え、59.0%が「バス路線ごと見直しを行い、尾鷲市の負担を軽減すべき」、8.3%が「バス路線は全て廃止し、尾鷲市の負担をなくすべき」と回答した。

松本線の見直しに関するアンケート結果は、「バス路線ごとに見直しが必要」と回答した人の内、8.3%が「現状維持」と答えたのに対して、46.6%が「廃止」や「見直しが必要」と回答した。旧町内の調査結果は右表のとおり。

	全体	旧町内
現状維持	8.3%	9.8%
路線廃止	3.2%	4.7%
一部見直し	43.4%	56.7%
わからない	26.8%	23.7%
無回答	18.3%	5.1%

計画内容

【市街地巡回バス(旧松本線)】

- ◆ 観光施設や商業施設、公共交通空白地帯を経由する運行ルートに見直します。
- ◆ JR尾鷲駅に停留所を設け、特急列車との接続を考慮したダイヤに再編します。
- ◆ 行野浦から向井小学校、尾鷲中学校への通学手段を確保します。
- ◆ 利用しやすい、持続可能な運賃体系を確立します。

②九鬼・早田地区

現状と課題

本地区には、市街地直通バス「ふれあいバス八鬼山線」と早田～九鬼間を結ぶ九鬼線が運行している。「ふれあいバス八鬼山線」は、平成17年9月に三木浦、早田、九鬼、市街地を結ぶ路線として試験運行を開始し、平成18年10月から本格運行をしている。平成19年度の利用者数が24,000人を超えるなど、他路線と比較すると相当数の利用者が乗車しており、地域の生活路線として定着している。

九鬼線については、平成3年度から廃止路線代替バスとして運行を継続しており、主にJR九鬼駅との連絡路線として利用されている。1ヶ月の乗降調査では、1便当たりの平均利用者数が0.66人と低調で、運行時間によっては、利用者数が0人といった便も見受けられた。この利用者数の低調は、モータリゼーションの進展や人口減少などのほか、市街地直通バス「ふれあいバス八鬼山線」の運行を開始したことにより、九鬼線から利便性の高い市街地直通バスへ流出したことも考えられる。

公共交通に関するアンケート結果(九鬼線)

尾鷲市全体のバス見直しに関するアンケート結果では、21.9%が「市の負担を継続しバス路線を維持していくべき」と答え、59.0%が「バス路線ごと見直しを行い、尾鷲市の負担を軽減すべき」、8.3%が「バス路線は全て廃止し、尾鷲市の負担をなくすべき」と回答した。

九鬼線に関するアンケート結果では、バス路線ごとに見直しが必要と回答した人の内、5.0%が現状維持と答えたのに対して、52.8%が廃止や見直しが必要との回答であった。九鬼・早田の地区別の結果は、右表のとおり。

	全体	九鬼	早田
現状維持	5.0%	23.8%	14.3%
路線廃止	13.6%	9.5%	0%
一部見直し	39.2%	42.9%	28.6%
わからない	25.4%	14.3%	28.6%
無回答	16.8%	9.5%	28.6%

計画内容

【ふれあいバス八鬼山線】

- ◆ 三木里まで路線を延長します。
- ◆ JR九鬼駅、三木里駅との接続を考慮したダイヤに再編します。
- ◆ 利用しやすいバス停を設置します。
- ◆ 持続可能な運賃体系を確立します。

【九鬼線】

- ◆ ふれあいバス八鬼山線へ集約化します。

③三木浦以南の輪内地区

現状と課題

本地区には、三木浦～梶賀間を結ぶ「輪内線」と三木浦～早田～九鬼～市街地を結ぶ「ふれあいバス八鬼山線」が運行している。輪内線は、平成15年度から廃止路線代替バスとして運行しており、三木里駅、賀田駅に停車し、JRとの乗り継ぎとして利用されることが多い。1ヶ月の乗降調査では1便当たりの平均利用者数が2.26人と少なく、新たに市街地直通バス「南回り線（仮称）」（以下、南回り線）が運行した場合、輪内線の利用者が落ち込むことも予想される。

公共交通に関するアンケート結果（輪内線）

尾鷲市全体のバス見直しに関するアンケート結果では、21.9%が「市の負担を継続しバス路線を維持していくべき」と答え、59.0%が「バス路線ごと見直しを行い、尾鷲市の負担を軽減すべき」、8.3%が「バス路線は全て廃止し、尾鷲市の負担をなくすべき」と回答した。

輪内線に関するアンケート結果では、「バス路線ごとに見直しが必要」と回答した人の内、8.0%が「現状維持」と答えたのに対して、54.8%が廃止や見直しが必要との回答であった。輪内線に関する地区別の結果は、以下のとおり。

	全体	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀
現状維持	8.0%	14.3%	10.5%	15.0%	19.2%	14.3%	25.0%
路線廃止	8.8%	7.1%	0%	5.0%	7.7%	0%	0%
一部見直し	46.0%	21.4%	47.4%	70.0%	30.8%	42.9%	62.5%
わからない	25.1%	42.9%	31.6%	5.0%	30.8%	14.3%	0%
無回答	12.1%	14.3%	10.5%	5.0%	11.5%	28.6%	12.5%

計画内容

【南回り線】

- ◆ 三木里以南と市街地を結ぶ市街地直通バスの運行を開始します。
- ◆ JR三木里駅、賀田駅との接続を考慮したダイヤ編成を行います。
- ◆ 持続可能な運賃体系を確立します。

【ふれあいバス八鬼山線】

- ◆ 三木里まで路線を延長します。
- ◆ JR三木里駅、九鬼駅との接続を考慮したダイヤに再編します。
- ◆ 利用しやすいバス停を設置します。
- ◆ 持続可能な運賃体系を確立します。

【輪内線】

- ◆ 南回り線へ集約化します。

6.2 路線別計画（路線図は別紙に掲載）

① 市街地巡回バス(旧松本線)

- ◆ 行野浦から観光施設や商業施設、公共交通空白地帯を經由しながら市街地を巡回する運行ルートに見直します。
- ◆ 来訪者の誘客を促進するため、JR尾鷲駅に停留所を設け、特急列車との接続を考慮したダイヤに再編します。
- ◆ 行野浦から向井小学校、尾鷲中学校への通学手段を確保します。
- ◆ 利用しやすいバス停を設置いたします。
- ◆ 持続可能な運賃体系を確立します。

② ふれあいバス八鬼山線

- ◆ 「三木里」～「三木浦」～「早田」～「九鬼」～「瀬木山」間を運行します。
- ◆ 瀬木山～熊野古道センター間はデマンド運行します。
- ◆ JR九鬼駅、三木里駅との接続を考慮したダイヤに再編します。
- ◆ 利用しやすいバス停を設置いたします。
- ◆ 持続可能な運賃体系を確立します。

③ 南回り線

- ◆ 熊野尾鷲道路を活用し、「梶賀」～「曾根」～「賀田」～「古江」～「三木里」～「瀬木山」間を運行します。
- ◆ 瀬木山～熊野古道センター間はデマンド運行します。
- ◆ JR三木里駅・賀田駅との接続を考慮したダイヤ編成を行います。
- ◆ 利用しやすいバス停を設置いたします。
- ◆ 持続可能な運賃体系を確立します。

6.3 新たな料金制度の確立

現状と課題

本市のバス料金は、廃止路線代替バスについては、三重交通株式会社の料金制度に倣い、停留所間の距離に応じて料金を定める距離制を採用している。一方、ふれあいバス八鬼山線は、わかりやすい料金とするため、各地区間に対応して100円単位の料金を設定している。

そのため、例をあげると九鬼駅前から早田停留所間の利用料金が九鬼線であれば260円。ふれあいバス八鬼山線では100円の運賃となる。また、廃止路線代替バスの初乗運賃が160円であるのに対し、ふれあいバス八鬼山線が100円であり、利用料金に格差が生じている。

ふれあいバス八鬼山線は、昨年度の利用者数が24,000人を超えるなど、他路線と比較すると相当数の利用者数があるものの、年間900万以上の損益が発生している。

持続可能な公共交通を維持するためには、利用収入と運行経費の調和の取れた料金体系を構築することが求められる。

公共交通に関するアンケート結果(バス料金について)

バス運賃に関する設問において、それぞれの距離に応じた運賃でもっとも多かった回答は、5km未満で200円、5km～10km未満では300円、10km～15km未満で300円、15km～20km未満で400円、20km以上で500円であった。詳細については、以下のとおりである。

	100円	200円	300円	400円	500円	600円	700円	その他
5km未満	19.6%	26.5%	8.8%	3.4%	-	-	-	2.4%
5km～10km	-	18.7%	23.4%	11.8%	6.7%	-	-	3.2%
10km～15km	-	-	20.9%	18.5%	11.4%	8.8%	-	3.7%
15km～20km	-	-	-	21.3%	17.8%	12.7%	8.2%	4.5%
20km以上	-	-	-	12.5%	17.2%	13.1%	13.8%	7.5%

料金制度について

運行主体が尾鷲市であるふれあいバス八鬼山線、南回り線、松本線（市内巡回バス）の料金制度の格差を是正し、利用収入と運行経費の調和の取れた料金体系を構築するため、距離制料金体系とする。

また、利便性向上や利用促進を図るため、回数券及び定期券の導入を行う。
料金体系は、下表の通りとする。

距離	料金
5 km 未満	200 円
5 km ~ 10 km 未満	300 円
10 km ~ 15 km 未満	400 円
15 km ~ 20 km 未満	500 円
20 km 以上	600 円

◆ 路線別料金表

【松本線(市内巡回バス)】

行野浦			
200 円	大曽根		
300 円	200 円	市街地	
		200 円	市街地

【ふれあいバス八鬼山線】

三木浦・小脇・名柄・三木里				
200 円	早田			
300 円	200 円	九鬼		
500 円	500 円	400 円	市街地	
			200 円	市街地

【南回り線】

梶 賀					
200円	賀田・曾根				
300円	200円	古 江			
400円	300円	200円	三木里		
600円	500円	500円	400円	市街地	
				200円	市街地

6.4 積極的な情報提供

市内のバス・鉄道路線など市内の公共交通機関を網羅した「利用者に優しい」尾鷲市公共交通パンフレット及びホームページを作成し、利用促進を図る。

6.5 地域公共交通総合連携計画の指標

目標数値の設定について

持続可能な交通体系を確立するため、収支率の目標数値を以下のとおり設定する。路線ごとの収支率数値目標は70%とする。収支目標下限数値を50%とし、この下限数値を下回った場合は、尾鷲市地域公共交通活性化協議会にて再検討し、地域住民とともに持続可能な生活路線を確保する。

平成19年度収支率	35.5%
平成23年度目標収支率	70.0%
下限収支率	50.0%

乗降調査集計表

松本線

平成20年6月19日～7月18日

▲印又は 枠内は土・日・祝日運休

発車時刻	▲6時25分		7時25分		9時55分		11時55分		▲13時35分		15時35分		17時20分								
	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降							
ジャスコ前	1		1	46	1	7	6		2	13		4	30	1	4	28		4	9		3
総合病院前	1		1	17	20	5	3	2	2	21	1	5	13	15	3	8	15	3	6	1	3
上野町			1		8	4	3		2	1	1	5		3	3		3	3			3
尾鷲市役所			1		1	4			2	1	1	5	2	1	3	1		4			3
尾鷲駅	1		1	19	4	4	46	1	5	49		9	10	4	4	29	3	6	21	1	4
栄町	1		1	33	1	6	6	2	7	4	8	9	2	3	4	2	1	5		2	4
朝日町	1		2	34	5	7	15	2	5	8	4	9	6	2	4	8	4	6	2		4
尾鷲港			2	2		7	13		7	1		9	1	1	5			6	24	2	5
フリー職安前			2		7	7		1	7		6	9		1	5			6			5
瀬木山			2			7	2	1	7	1	4	7			5	1		6	2		5
文化会館前			2			7			7	1	1	7			5			6	3		6
主婦の店前			2			7	12		7	37		9	2	1	5	8	4	5	10		6
国市			2			7	1	2	7	1	1	9			5		6	5		3	6
矢の浜			2			7	1	4	7	11	3	17		1	4		3	5			6
岡崎野田			2			7	4	3	7		11	16		5	4	1	6	5		14	4
二本松			2			7			7			16			4		1	5			4
向井		3	2		2	7		29	7		41	14		17	2		23	2		19	3
向井小学校前	1		1		53	4	1	4	7	4	47	5	3	3	2	9	6	3	8	11	2
熊野古道センター	1				47	1		12	5		5	2		1	2		1	3			2
大曾根浦駅前						1		15	3		2	2		6	1		6	2		1	2
エーパル						1		3	3			2			1			2			2
紀伊松本					2			32			17			4			13				31
合計	5	5		151	151		113	113		153	153		69	69		95	95		85	85	
利用日数	4		26		28		30		21		25		26								

乗降調査集計表

松本線

平成20年6月19日～7月18日

▲印又は 枠内は土・日・祝日運休

発車時刻	▲6時55分		7時52分		10時25分		12時55分		▲14時10分		16時15分		18時00分							
	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降						
紀伊松本	22		1	50	4	6	2	11	2	13	3	1	1	2	1					
エーパル			1		4		2		2		3		1		1					
大曾根浦駅前	2		2	11	1	5	7	2	4	2	4	3	3	1	1					
熊野古道センター	1		3		5	4	3	1	3	1	5	4	61	6	1					
向井小学校前	19		4	17	2	7	45	14	4	1	2	16	4	37	8	1				
向井	22		5	22		8	30	15	4		2	9	8	2	8	7				
二本松			5		1	8	1	16	1		2		8		8	2				
岡崎野田	3		5	18	18	7	19	16	13	3	6	6	4	9	9	2				
矢の浜			5		1	7	13	11	8	3	2	3	5	4	9	2				
国市			5	1	3	7	6	7	8	7		4	1	1	9					
主婦の店前			5		1	7	1	14	7	3	2	4	4	4	8	1				
文化会館			5			7		7			4		4	1	8	1				
瀬木山	15	1	6	4	1	8	1	26	6	1		4		1	8	2				
フリー職安前	4		6		1	8		6		4		1		4	8	2				
尾鷲港	39		4	5	9	7	6	10	5	1		4		1	8	1				
朝日町			4	2	21	6	18	10	7	2	6	4	2	24	7	1				
栄町			4		3	6	3	2	8		7	4	5	36	9	3				
尾鷲駅	1	40	2	1	38	6	28	30	7	6	9	4	13	1	2	21				
尾鷲市役所前			2		3	6		1	7			4		1	4	8				
上野町			2		4	6	3	4	7			4		1	1	2				
総合病院前	3		2		23	1	55	26	12	3	25	2		4	1	18				
ジャスコ前	4				3		1	107			9			1		18				
合計	89	89		132	132		248	248		64	64		58	58		126	126		15	15
利用日数	22		27		30		30		19		23		12							

乗降調査集計表 九鬼線

▲印は土・日・祝日並びに九鬼小、中学校休校日運休

早田 → 九鬼駅前 → 九鬼町

平成20年6月19日～7月18日

発車時刻	6時55分		7時35分		8時30分		9時18分		11時30分		12時00分		13時05分		15時25分		15時53分		▲16時15分		16時50分		17時30分		18時35分	
	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員
早田	13	2	33	2	46	2	5	11	2	2	2	2	1	1	2	1	1	6	3	3	3	3	3	3	3	3
フリー早田口	2	2	2	2	1	2	5	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3
フリー早田峠	2	2	2	2	2	2	5	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3
九鬼駅前	13	2	13	2	45	1	4	1	4	2	39	5	1	1	1	45	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2
梅の輪							1	1	1	2	3	5	1	1	1	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中学校前							1	1	1	2	10	3	1	1	1	16	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
車庫前							1	1	1	5	6	3	1	1	1	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
岡の浜							2	2	2	1	1	3	1	1	2	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
漁業組合前							1	1	1	1	10	2	1	1	14	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
九鬼							20	1	1	1	8	1	1	1	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	13	13	35	35	47	47	4	4	11	11	39	39	1	1	45	45	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
利用状況	10		22		21		4		9		19		10		21		2		2		2		25		16	

九鬼町 → 九鬼駅前 → 早田

平成20年6月19日～7月18日

発車時刻	7時10分		7時57分		8時45分		9時23分		11時45分		12時05分		13時20分		15時39分		16時00分		▲16時30分		17時05分		17時36分		18時56分	
	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員	乗降人員	最大人員
九鬼町	6	1	16	2	16	2	4	2	4	2	4	1	4	2	1	5	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1
漁業組合	15	2	13	3	13	2	2	2	2	2	5	2	2	2	4	5	5	1	3	1	1	1	1	1	1	1
岡の浜	1	2	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
車庫前	10	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中学校前	5	3	6	3	6	2	2	2	2	2	1	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
梅の輪	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
九鬼駅前	37	3	41	2	41	2	2	2	12	2	5	11	5	5	6	16	3	5	3	3	3	5	17	4	4	2
フリー早田峠																										
フリー早田口																										
早田																										
合計	37	37	41	41	41	4	4	4	12	12	17	17	14	14	6	33	33	14	7	7	5	18	18	12	12	
利用状況	23		23		23	3		3	9		12		10		5	14		3	3		4	13		9		

ふれあいバス八鬼山線

平成20年7月1日～7月30日

停留所名	7時20分		9時30分		12時50分		人員計		8時30分		11時50分		16時00分		人員計	
	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降
三木浦	166	11	116	8	52	5	334	334	1	1	54	5	47	4	102	102
市場前	21	13	25	9	8	6	54	388	8	2	336	22	105	9	449	551
国道三木浦	6	5	12	12	9	2	27	407	10	2	38	25	27	10	75	626
早田口	3	13	1	13	6	6	4	411	14	3	172	33	91	15	277	903
早田	91	16	129	18	46	3	266	673	1	6	2	8	33	11	14	15
早田口	7	16	6	18	3	8	16	689	1	8	2	63	29	1	4	101
九鬼駅	3	28	7	19	4	1	14	674	4	4	1	112	27	42	13	5
中学校前	13	7	79	9	30	6	122	774	1	4	5	3	65	25	4	96
漁業組合前	1	15	12	23	9	5	22	789	2	5	2	11	25	4	4	15
九鬼町	34	17	55	25	36	1	125	912	2	5	2	25	25	12	2	2
漁業組合前	35	18	74	27	24	16	133	11044	1	3	5	37	26	4	5	8
中学校前	2	18	15	27	5	16	22	11065	5	5	10	26	12	10	10	577
九鬼駅	5	7	13	28	5	2	23	111077	2	5	5	188	21	65	2	258
尾鷲病院前	239	7	207	18	95	9	541	536	5	5	10	21	8	8	10	311
ジャスコ前	2	7	53	16	29	8	84	452	2	4	24	21	7	14	7	40
野地町	51	4	190	7	66	3	307	145	4	1	48	8	15	7	67	204
朝日町	46	78	78	21	21	21	145	145	11	11	110	1	83	204	204	
合計	387	544	544	544	231	231	1162	1162	45	45	649	649	286	286	980	980
利用日数	31	31	31	30	30	30	31	31	23	23	31	31	31	31	31	31